



from Indonesia

FAIR TRADE + design

APIKRI CUTLERY



FAIR
TRADE

APIKRI

伝統工芸の保存と発展を通して地域を活性化させる

○手工芸を守り、生産者に安定した収入を

インドネシアのジャワ島中部に位置するジョグジャカルタは、ジャワ王朝時代の古都であり、伝統工芸も特に盛んな地域です。その伝統工芸の担い手の多くは、極小規模の生産者たち。しかし現在、その生産者たちが、時代の変化や、中間業者からの搾取などで不安定な暮らしを余儀なくされている場合が多くあります。そんな中、1987年に手工芸生産者たちをエンパワーしていく目的で設立されたのが、APIKRIです。生産者自身のビジネススキル向上のためのワークショップや海外市場へのマーケティングなど、多方面から生産者を支援してきました。APIKRIは手工芸の保存と発展を通じた地域の活性化モデルとして注目されています。

○地域や生産者のための活動

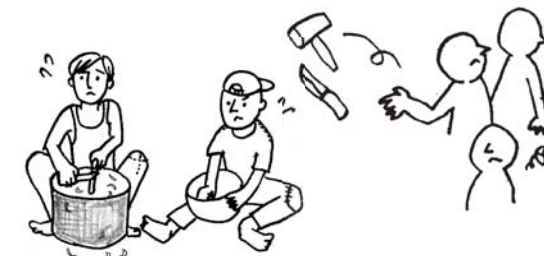
ビジネスの面だけではなく、2008年には、地震被害にあった木工が盛んな村に植林活動を行ったり、2010年には、メラピ山の噴火で被害を受けた村や生産者の家族たちに緊急支援を行うなど、積極的に地域や生産者に向けた活動を行っています。



Before FAIR TRADE

もともとの問題

時代の変化とともに、伝統工芸が廃れていく中で、生産者は不利な労働条件のもと、低賃金で働くことを余儀なくされ、なかなか生活は良くなってきません。



FAIR TRADE NGOの働き



そのような生産者を支援するためにアピクリが結成され、生産者自身のビジネススキル向上のためのワークショップや海外市場へのマーケティングなど、多方面から支援してきました。

2008年には、地震被害にあった木工が盛んな村に植林活動を行ったり、2010年には、メラピ山の噴火で被害を受けた村や生産者の家族たちに緊急支援を行うなど、積極的に地域や生産者に向けた活動を行っています。

After FAIR TRADE

フェアトレードに出会って

安定した収入を得ることで、日々の生活はもちろん、教育費や貯金にまで回せるようになりました。アピクリはインドネシアの伝統や技術を守りながら、2008年の時点で、4,700人もの生産者とその家族を支援してきました。

